

年 頭 所 感

新春ご挨拶

大 井 利 夫

社団法人日本病院会 副会長
上都賀総合病院 名誉院長
診療情報管理士教育委員会 委員長
日本診療録管理学会 理事長

新年、明けましておめでとうございます。

2008年、子の年の穏やかな新春を、診療情報管理士はじめ診療情報管理に関わる多くの皆様とともに祝いたいと思います。

昨年も、皆様にとって様々な出来事がありました。9月に京都市にて開催された第33回日本診療録管理学会および第2回WHO-FICのアジア・パシフィック会議の盛況と成果。さらに4月に小田原にて行われた第1回WHO-FICの改訂運営会議や10月末からイタリアのトリエステにて開催されたWHO-FICネットワーク会議など、ICD-11に向けての熱心な議論も行われています。また9月には日本診療録管理学会の役員改選が行われ、新しい役員体制でこれからの3年間歩みだすことになりました。

診療情報管理を取り巻くこの流れは、本年も一層大きくなる可能性を予感させます。先ず、2月17日には全国15会場にて診療情報管理士認定試験が行われます。これは、認定試験の長い歴史の中で始めての斉試験であり、これで認定試験の体制が一層整備されることになるであります。8月には、第34回日本診療録管理学会が東京にて開催されます。また、本年10月にはインドにてWHO-FICネットワーク会議が開催されますし、改訂運営会議も企画されるなど、ICD-11改訂に向けて急ピッチの作業が進められることとなります。更に、昨年から一部施行された医療機能情報提供制度は本年度から全面施行になり、診療情報管理士に求められる業務はさらに拡大するものと予想されます。

2008年は子の年、ねずみの年です。子年生まれは細かいことに気がつき、儉約貯蓄心に富むと言われています。今年は、経済的にも、人心的にも落ち着いた年になるかもしれません。そうなって欲しいと願っています。

診療情報管理士の皆さんも、診療情報管理をめぐる国内外の動きに注意しながら、着実に日常の業務を遂行し、更に明日に向かって成長発展して欲しいと思います。どうか、本年が皆様にとって良い年でありますように。